

## 163 児落場峠天然カラマツ

こ おち ば とうげてん ねん



指 定 市天然記念物 平成16年 2 月13日  
所在地 入 沢  
所有者 佐 久 市



植物分類上は、マツ科、カラマツ属のカラマツで、樹高20m余、周囲目通り2.7mのものである。

根元の石仏の建立年代からも樹齢は200年を超えるものと思われる。

入沢の奥、赤谷集落を過ぎ、長畑の手前を右折すると、佐久穂町余地に通じる広域基幹林道田口・十石峠線がある。この林道を500mほどのぼった所が児落場峠。ここに天然カラマツの古木が聳え立っている。

このカラマツの根元には、幹にもたれかかるように、2基の馬頭観世音石仏があり、安永3年（1774）と文化6年（1809）の建立である。

児落場峠の道は、その昔入沢村から余地村を通過して、上州（群馬県）に通じる大切な交易道路として利用されていた。

児落場峠にそのシンボルのように立っているこの天然カラマツの存在は、近年その数も減少し大変貴重である。